

一般質問



井桁 敦子 議員 (自民)

環境について

- ①清掃車両の中身が見えるスケルトン車を環境イベントで活用しては。②エコクッキング教室を小学校で定期的に行う。③環境啓発活動としてのエコクッキングの拡充を。④区所有の公用車などに、電気自動車等の購入促進を。⑤太陽光パネル等の家庭への設置について⑦助成事業への申し込み数は。⑧節電効果は。⑨増設に向けての考えは。⑩風力発電に助成等を考えては。⑪屋上緑化の一部を菜園等へ活用しては。⑫防災センター屋上での稲の栽培の拡充に考えは。⑬環境啓発や食育の考えから、小学校で食べ物の栽培のさらなる取り組みを。



地域密着型多機能ホーム落成式

ペットと人の関わりについて

- ①犬の飼いに鑑札をつけてもらう努力を。②犬の登録数は実際の数より少ないと感じる。実態調査が必要では。③動物病院と連携して登録の啓発の拡充を。④犬を飼うことへの意識の向上につながる

住犬票の発行を。⑤現在のマナー講習会のよさを生かしてイベント以外での定期開催としては。⑥動物が高齢者の方や障害のある方のもとを訪ねて癒すアニマルセラピーの団体の活用を。⑦区営のドッグランを公園へ設置しては。品川区保健所長 ①鑑札のデザインを一新し、着用率の向上に取り組んでいる。②民間団体などの調査のデータを参考に。③周知に努めるほか、関係機関等との連携強化を進める。④考えていない。⑤より効果的な講習会となるよう充実を努める。⑥可能性について検討する。⑦飼養の目的、環境等に適した犬種を選ぶことが飼い主の責任だ。区立公園でのドッグランの設置は考えていない。

国際化について

- ①インターFM放送の多言語による広報番組の発信の効果を。②多言語記載のパンフレット作成に取り組んで。③外国の方の対応を、一つの窓口でできるようにしては。④庁舎等の案内にも英語などの記載を。⑤外国人と地域との交流をさらに充実させる必要があるのでは。⑥交流事業で、地域での状況把握等は不可欠では。⑦八潮地区での交流事業の充実を。⑧地域センターでの個別、国別のサポートが重要では。⑨産業振興での交流について⑩意気込みは。⑪現地からの技術研修という形もとののか。⑫区内企業の技術、製品の売り込みに、新たな支援等の考えは。⑬国際友好協会のお国自慢料



目黒川沿いの桜

災害時要援護者対策のさらなる拡充について



武内 忍 議員 (公明)

- ①災害時要援護者名簿について②区が把握している要援護者の対象者数と名簿登録者の目標数は。③名簿化されていない支援の必要な方についての対策は。④福祉関係者との連携によるきめ細かな要援護者名簿登録意向調査を再度実施しては。⑤支援者のリストアップを早急に実施しては。⑥個別支援計画の策定と個別の避難訓練の実施を提案する。⑦被災リスクの高い方々から優先順位をつけ、関係する障

- 練への参加等を促進している。⑧区内大使館関係者との懇談会で地域の情報をお聴きした等と考える。⑨さらに交流の輪が広がるよう働きかける。⑩幅広く検討する。⑪まずは地道な方法で進める。⑫中小企業で、留学生による技術研修のニーズ等を研究する。⑬21年度は支援セミナーの開催等を予定している。⑭より充実できるように支援する。⑮実施を検討する。⑯関係機関と連携をしながら進める。⑰平成21年度に支援プランの策定や個別避難訓練の実施について検討に入る予定だ。⑱計画の策定にあたり、要援護者の方々と関係団体の意見等を反映できるように連携をとる。優先順位づけは検討課題だ。総務部長 ①2次避難所に位置づけられていることから早期に耐震化を図る。②必要性を考慮した上で対応する。③設置には一定の面積が必要だが、改修にあたっては既存の建物の形状等を考慮した上で可能な限り設置する。

が現実的であるので、積極的な働きかけをしていただく。④多くの家庭への設置助成を行っているところであり、当面この上限を進める。⑤設置状況を見ながら研究課題とする。

トイレのバリアフリーとやさしいまちガイドマップの新たな作成について

- ①今後、区有施設の改修では簡易型でなく一定のスぺースが確保され、ストーマ器具の交換や装着などにも配慮したオストメイト対応トイレの設置を。すべての、だれでもトイレにオストメイト対応トイレの設置を。②関係団体の方々の意見も聞きながら、トイレに音声案内システムや点字案内表示板を設置しては。③音声読み上げ機能や視覚障がい者に配慮したSPコードの配置など、だれが見てもやさしいと言える新たな「しながわのやさしいまちガイドマップ」の作成に所見は。福祉高齢事業部長 ①区有施設改修などの機会をとらえ、施設状況に合わせてオストメイト対応型トイレの設置を進める。②心身障害者福祉会館のトイレ改修では自動音声案内器の設置も計画しており、点字案内板についても努力する。周辺状況からすべてのトイレで設置可能とはならず、お困りの方に一声かけるなどの対応が大切なことと考える。③情報の更新が重要であり、現在行っているホームページの活用が最もすぐれていると考える。情報提供の方法は、提案を含め課題とする。